

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

府教委2018年度

人事異動方針を発表

府教委は、9月7日の校長会で、2018年度の「人事取扱要領」等について説明を行いました。府教委の説明によると、2018年度の「人事取扱要領」は、2017年度の「人事取扱要領」からの大きな変更はなく、直轄強制異動と呼ばれる府教委人事の本質は何ら変わっていません。大障教は引き続き、障害児教育の専門性低下や、教職員の業務負担増につながる人事異動人事を通じた教職員の管理強化には反対の立場を貫き、本人の希望と納得にもとづく人事「公正・民主的な人事」を求めてとりくみます。

希望と納得にもとづく公正で 民主的な人事異動の確立を!

1 この間の「人事取扱要領」に関する経過
教員人事について府教委は、1998年度当初人事において「新規採用以来現任校4年以上勤務者」「現任校10年以上勤務者」を異動対象者とし、その後モ年限基準を段階的に短縮するなど、様々な改悪を重ねてきました。2011年度当初人事では、府立学校を7つのグループに分け、障害児学校の専門性の否定につながる、新規採用後3校目までに、原則として異なる3つのグループを経験す



るものとする」との大改悪を行うと同時に、「予定者通知」の前に実施されていた「候補者通知」をなくしました。2013年度には、「1校における在籍期間」として「原則15年」を明記するなどの改悪を強行しました。

2 人事異動に関する大障教の基本的考え

直轄強制人事異動のねらいは、教育行政が、学校や教職員への管理と支配をいっそう強め、政府や府教委が決めた教育政策を学校に徹底することにあると、大障教は考えています。そもそも人事異動とは、ゆきとどいた教育を推進するために行うべきもので、特定の施策推進や教職員の管理統制退職の強要などに利用することは許されません。

異動対象者の年限基準短縮に伴って、府立支援学校では、教職員の入れ替わりが早まり、引継ぎが十分にできない中で責任の重い仕事をこなさざるを得ない実態が、長時間過密労働を生み出す要因の一つになっていきます。大障教は、本人の希望と納得にもとづく人事「公正・民主的な人事」が大原則だと考えています。

今年2月3日に行った課別交渉で府障教市障教は、保育所送迎や健康状態・介護事情などの具体的な事情のある方については、人事異動において配慮するよう府教委に対して求めました。これに対して、府教委は、人事に関する調査、ヒアリング等を通じ、本人の通勤事情等、個々の事情についてもできる限り把握したうえで、校長の具申をもとに適切に行ってまいりたいなどと説明しています。

3 人事調査記入にあたって

人事調査は、人事異動を前提に作成されています。それを踏まえて記入しましょう。特記事項には、「異動希望はない」「肢体不自由校以外への異動は希望しない」など、自分の意志を明確に記入しましょう。書き切れない場合、「別紙にて添付します」と記入し、添付書類を校長・准校長に提出しましょう。保育、介護や健康上の理由で、人事異動を希望する、「希望しない」場合は、その内容をいねいに記入し、人事調査の提出後に事情・希望が変わった時は、速やかに学校長に申し出て、調査の差し替えをおこないます。

4 人事ヒアリングについて

校長・准校長による本人ヒアリングではあいまない方は避け、自分の意志を明確に校長・准校長に伝えましょう。重要なことは、校長具申の内容です。校長・准校長に対し、本人希望を尊重した校長具申を求めましょう。昨年度は、2月17日に、再任用申込者合否通知(事務職員を除く教職員)、3月2日に、異動予定者及びTRYシステム選考結果の通知、3月8日に、異動内示事務職員以外が行われました。府教委は現段階では、これらの日程について、昨年と大きく変わらない見込みとしています。

大障教ホームページアドレス <http://www1a.biglobe.ne.jp/fushou/> Eメール アドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp



書記局のひとりごと
関東大震災から94年にあたる9月1日、今年も朝鮮人犠牲者追悼式典が東京都の横綱町公園で開催され例年を上回る約500人が参加しました。1923年に発生した関東大震災で「朝鮮人が井戸に毒を入れた」などのデマが広がり、警察や自警団警察の指導で組織された住民の自警組織によって多数の朝鮮人が虐殺されました。

亡くなった人の数は、正確には証明のしようがありませんが、最近の研究では犠牲者は数千人と考えられています。政府の中央防災会議の報告書(2009年)も、「震災による死者数(10万5千人)の1%の数」と認めています。これは千人から数千人に当たる数です。手足を縛って火の中に投げ込んだ「妊婦の腹を裂いた」などの残忍な方法で、罪も無い人がこれだけ殺されてしまったのです。当時の政府はこの事実を覆い隠そうとし、在日朝鮮人による調査を妨害しました。現在に至っても政府は何の調査も行わず、虐殺の全貌は依然として不明です。

大震災50周年の1973年に都議会全会派代表の賛同で横綱町公園に朝鮮人犠牲者追悼碑が建立されました。それ以来、毎年この碑の前で追悼式が開かれ、石原・猪瀬・舛添の歴代知事が追悼文を送付し、昨年は小池知事も送っていました。ところが今年、小池知事は朝鮮人犠牲者への追悼文送付を取りやめ、朝鮮人虐殺には様々な見方がある」とどれがどつか歴史家がひもつくものと、虐殺の事実を認めませんでした。歴史的事実を隠す動きに加担するもので責任重大だ」と、日朝関係史の研究者からは批判の声があがっています。

国の責任による少人数学級の前進、支援学校・学級の抜本的増設を

すべての子どもたちに

ゆきとどいた教育を求める教育全国署名

2017年度 大阪スタート集会

7月13日、「大阪の障害児教育をよくする会」をはじめ、「大阪府立高校30人学級をすすめる会」「大阪市立高校30人学級をすすめる会」「大阪私学助成をすすめる会」「子どもと教育・文化を守る大阪府民会議」の5団体が共同で毎年とりくんでいる、教育全国署名のスタート集会が開催されました。

集会のオープニングでは、大阪市立東高校ジャグリング同好会の高校生4人が迎えられ、軽快なリズムに乗った巧みな演技を披露して集会を盛り上げてくれました。

ECD加盟国平均並みの教育予算を

学びのためのゆつたりとした時間を

開会あいさつを行った「府立高校30人学級をすすめる会」の小橋川会長は、「すべての子どもたちに行き届いた教育をするためには、少人数学級と、お金の心配無く学校に行けることが二本柱だ」と述べ、「教育のこと、子どものことについての願いは一緒、どうやって多くの方々にこの署名を届けていけばいいか、しっかりと考えながら今年も頑張っていきたい」と訴えました。



講演する甲斐真知子さん

続いて、「子どもと教育・文化を守る大阪府民会議」の大瀬良事務局長が基調報告を行い、日本の教育機関

「教育署名を進め、子どもたちの学び・成長を社会全体で支えるための大きな世論を形成していこう」と力強く決意を語りました。

記念講演は「いま、教育で大切にしたいこと、未来を担うすべての子どもたちゆきとどいた教育を」と題して、甲斐真知子さん（相愛大学人間発達学部准教授）が行いました。甲斐さんは、ご自身の小学校教諭としての豊富な経験をはじめ、

大学で保育士や教員をめざす学生たちとの関わりを通じて実感した「子どもの願いをどう受け止めて応えていくか？」という教育の根本について丁寧に語りました。

学びのためのゆつたりとした時間が取られ、子どもも尊厳を大切に、子どもも学習形態と先生の人的保障

解にゆつくりと時間をかけられる教室にしたいという思いは、多くの教員の願いだと言います。甲斐さんは、二つの水筒のどちらに水が多く入るかを比べる小学1年生の算数を例に、勘違いや間違いを十分出し合いなから学ぶことの楽しさ・大切さについて語りました。

また、現在勤務されている大学の学生への「私が文部科学大臣になったら、一番に取り組みたいこと」という質問への回答も紹介されました。1位が奨学金制度の見直し、2位が教育費の無償化、3位が少人数の

このように教育署名の持つ意義を様々な観点から語った甲斐さんは、子どもたちの願いを国に届けていくのは本当に大変なことではあるが、力を合わせて運動をひろげていくことを参加者に呼びかけて講演を終えました。

多くの大阪の子どもたちは、貧困と格差の広がりによって苦しめられ、学ぶ権利を奪われている実態があります。大障教は、こうした状況を改善して教育条件整備を少しでも前に進めるために、今年も教育全国署名への協力を教職員の皆さんに呼びかけます。



巧みな演技を披露する高校生